

木洩れ日の家で (2007)

PORA UMIERAC

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 ポーランド

色彩 B&W

時間 104分

初公開日 2011/04/16

公開情報 パイオニア映画シネマデスク

映倫 G

【解説】

「僕がいない場所」のドロタ・ケンジェジャフスカ監督が、撮影当時91歳になるポーランドの名女優ダヌタ・シャフラルスカを主人公にシナリオを当て書きして撮り上げた感動ドラマ。ワルシャワ郊外の林の中に佇む古い屋敷を舞台に、そこに暮らす老女が愛犬と過ごす晩年の日々を、全編モノクロによる詩情溢れる映像で描き出していく。

ワルシャワ郊外の緑に囲まれた木造の古い屋敷。ここで愛犬のフィラデルフィアと暮らす91歳の女性、アニエラ。共産主義時代に政府から強制された間借人もようやくいなくなり、思い出の詰まったこの家で静かな余生を送っていた。そんな彼女の楽しみは、双眼鏡で両隣の家を覗くこと。一方は、愛人を囲う成金の家、もう一方には、子どもたちのために音楽クラブを開く若いカップルが住んでいた。ある日、成金の使いという男がアニエラの家を売ってほしいと破格の値段を提示してくる。言下に断るアニエラだったが、残り少ない人生を思い、大切な我が家の行く末に不安が募る。追い打ちを掛けるように、息子の思いがけない行動を目の当たりにし、さらなるショックを受けるアニエラだったが…。

【クレジット】

監督	ドロタ・ケンジェジャフスカ	Dorota Kedzierzawska	
製作	アルトゥル・ラインハルト	Artur Reinhart	
	ピョートル・ミクラシェフスキ	Piotr Miklaszewski	
脚本	ドロタ・ケンジェジャフスカ	Dorota Kedzierzawska	
撮影	アルトゥル・ラインハルト	Artur Reinhart	
編集	ドロタ・ケンジェジャフスカ	Dorota Kedzierzawska	
	アルトゥル・ラインハルト	Artur Reinhart	
音楽	ヴロジミエシュ・パヴリク	Włodzimierz Pawlik	
出演	ダヌタ・シャフラルスカ	Danuta Szaflarska	アニエラ
	クシシュトフ・グロビシュ	Krzysztof Globisz	息子
	パトリツィヤ・シェフチク	Patrycja Szewczyk	孫娘
	カミル・ピタウ	Kamil Bitau	ドストエフスキー
	ロベルト・トマシェフスキ	Robert Tomaszewski	しつこい男
	ヴィトルト・カチャノフスキ		公証人
	マウゴジャタ・ロジニャトフスカ	Malgorzata Rozniatowska	医師
	アグニエシュカ・ポトシャドリク	Agnieszka Podsiadlik	娘